

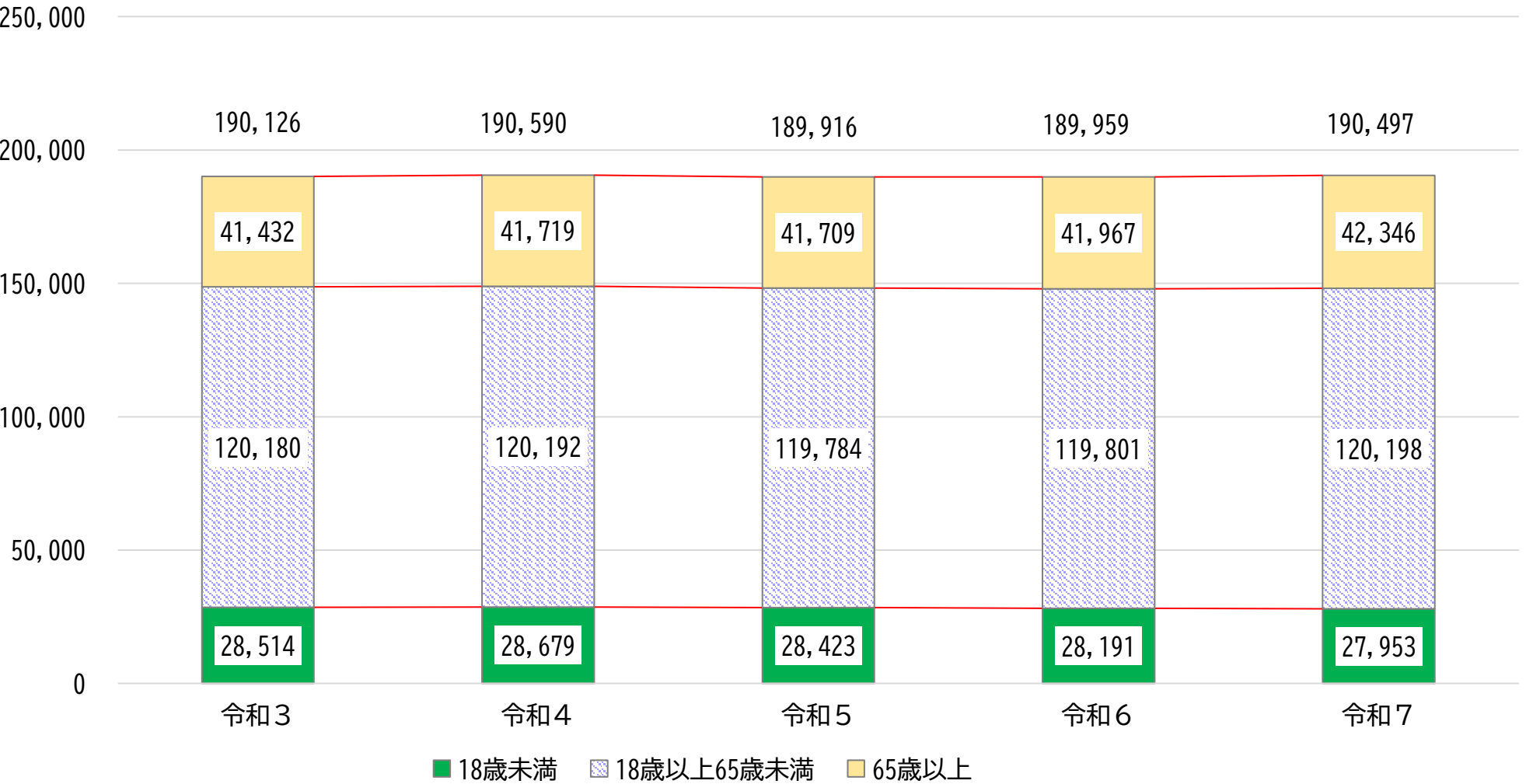
三鷹市の現状について

- 1、障がいのある人の状況（統計データより）
- 2、主なサービスの利用状況
- 3、令和7年度三鷹市障がい者等の生活と福祉実態調査結果より
- 4、令和7年度障がい者（児）計画策定のための事業所調査結果より

1 障がいのある人の状況（統計データより）

三鷹市の人口はほぼ横ばいに推移しています。

■ 人口（年齢区分別）の推移 単位：人

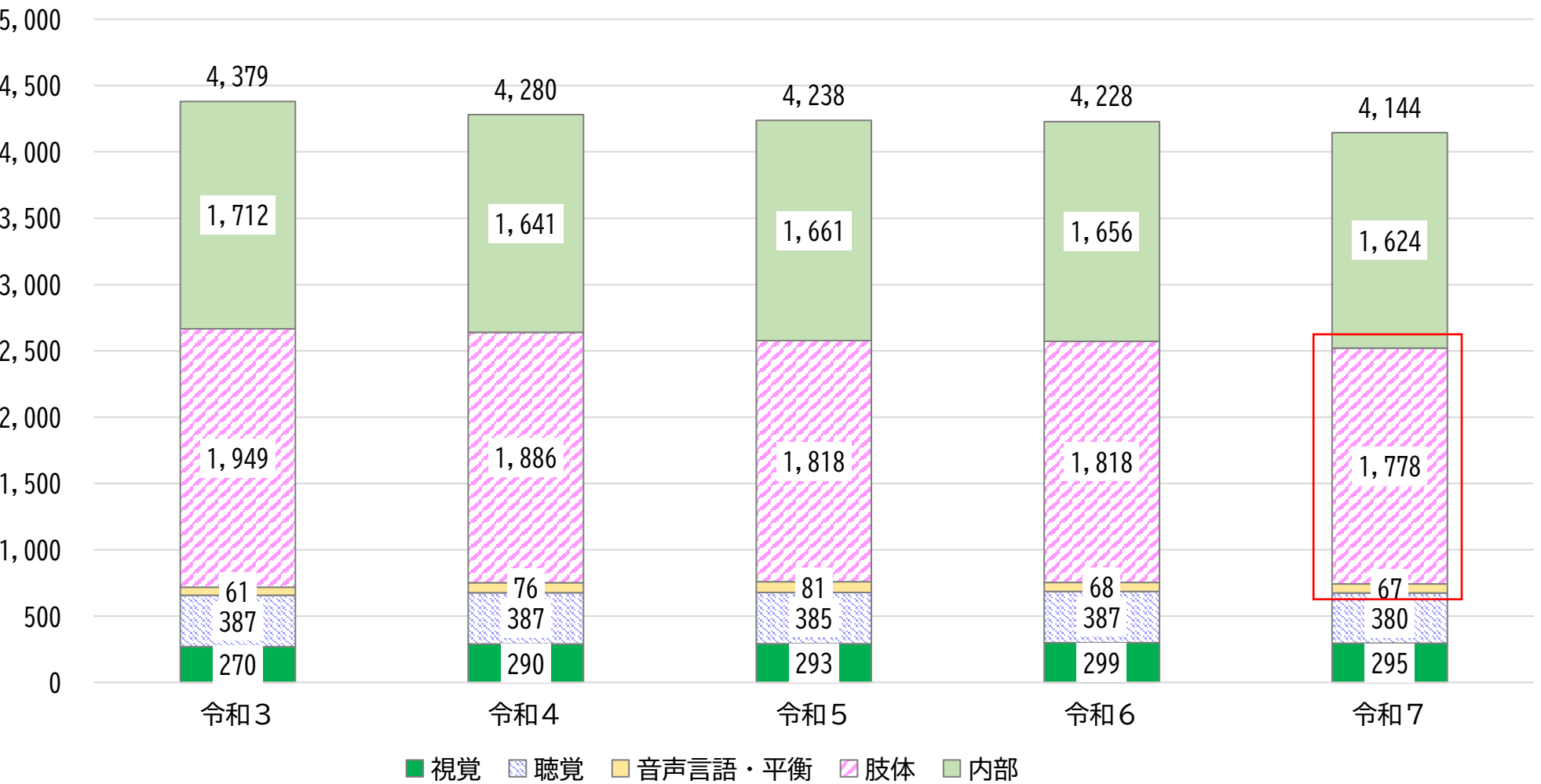


※各年1月1日現在

住民基本台帳からみた三鷹市の人口

身体障害者手帳所持者数は減少し、障がいの部位別に見ると、「肢体不自由」が最も多くなっています。

■ 身体障害者手帳所持者数（障がいの部位別）の推移 単位：人

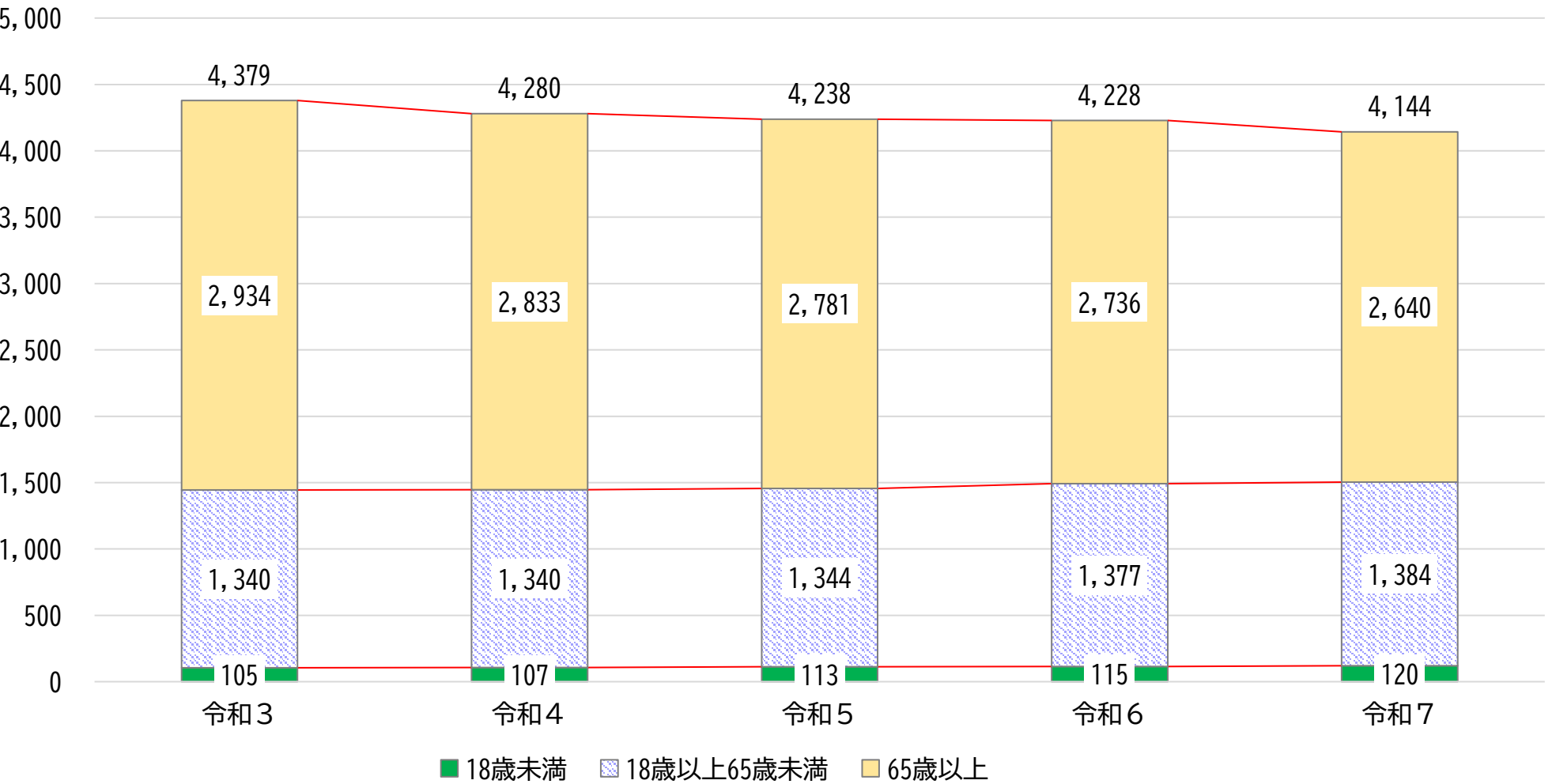


※各年4月1日現在

身体障がいのある人の状況② 身体障害者手帳所持者数（年齢区分別）の推移

身体障害者手帳所持者数を年齢区分別に見ると、「65歳以上」で減少しています。

■ 身体障害者手帳所持者数（年齢区分別）の推移 単位：人

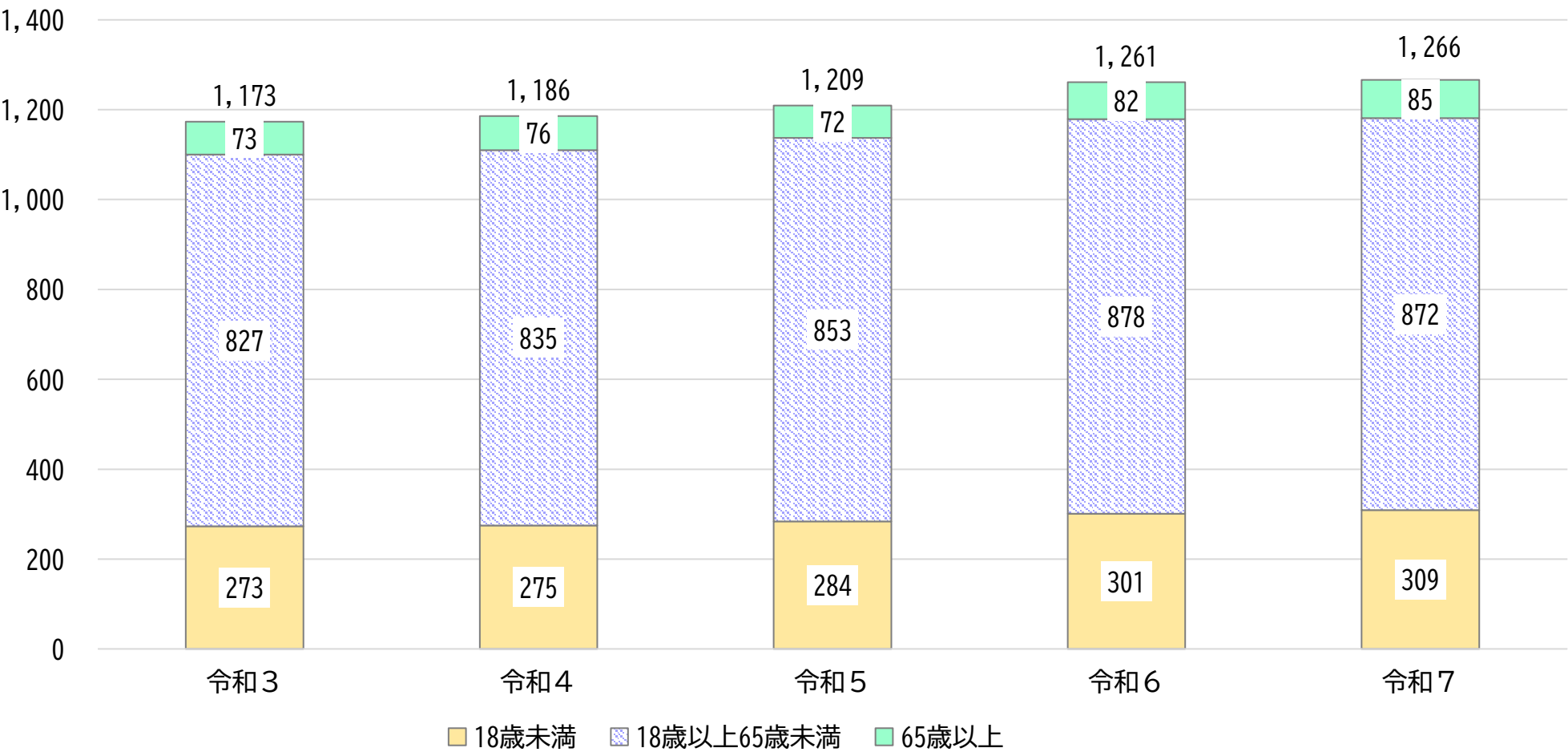


※各年4月1日現在

愛の手帳保持者数は増加しています。

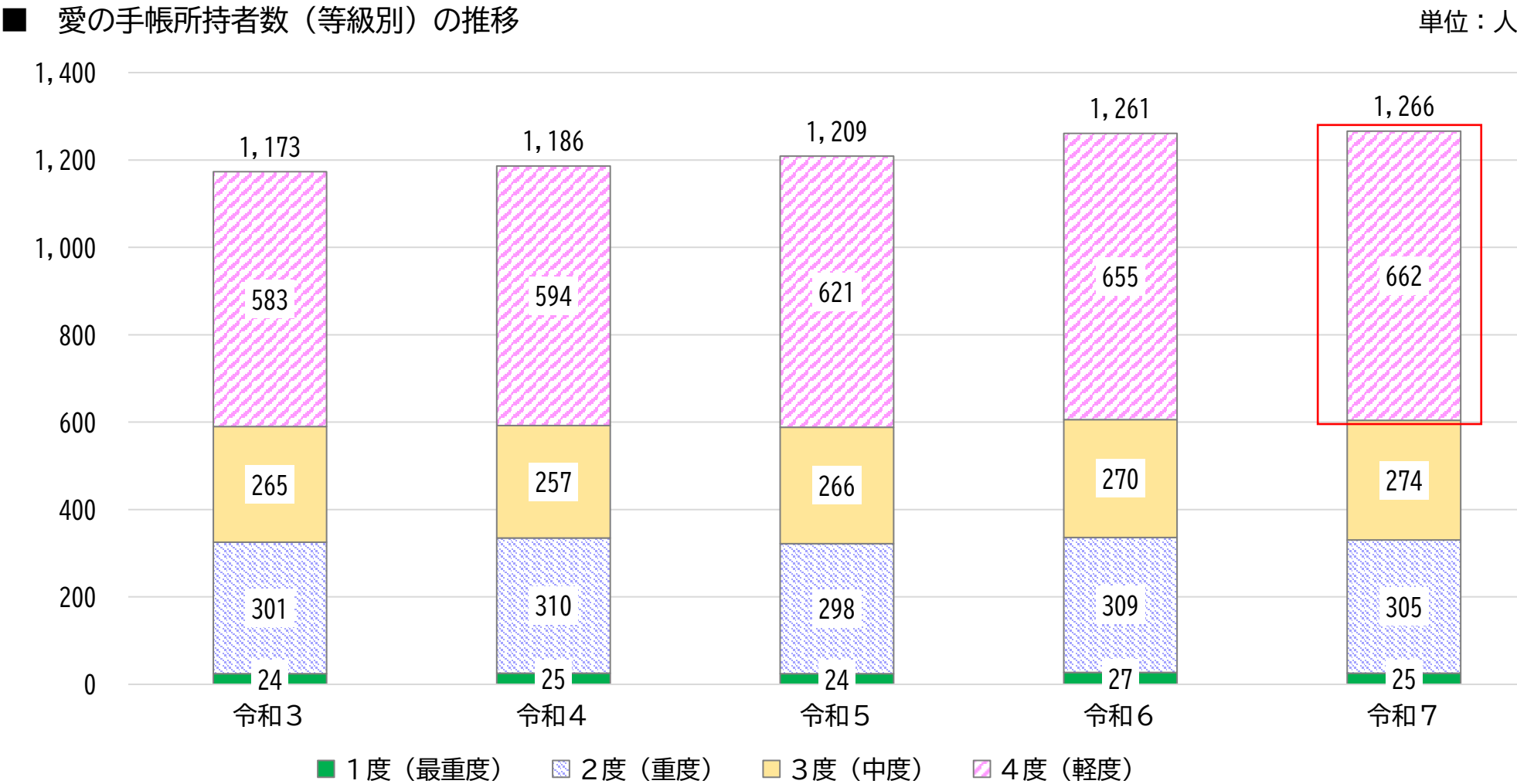
■ 愛の手帳所持者数（年齢区分別）の推移

単位：人



※各年4月1日現在

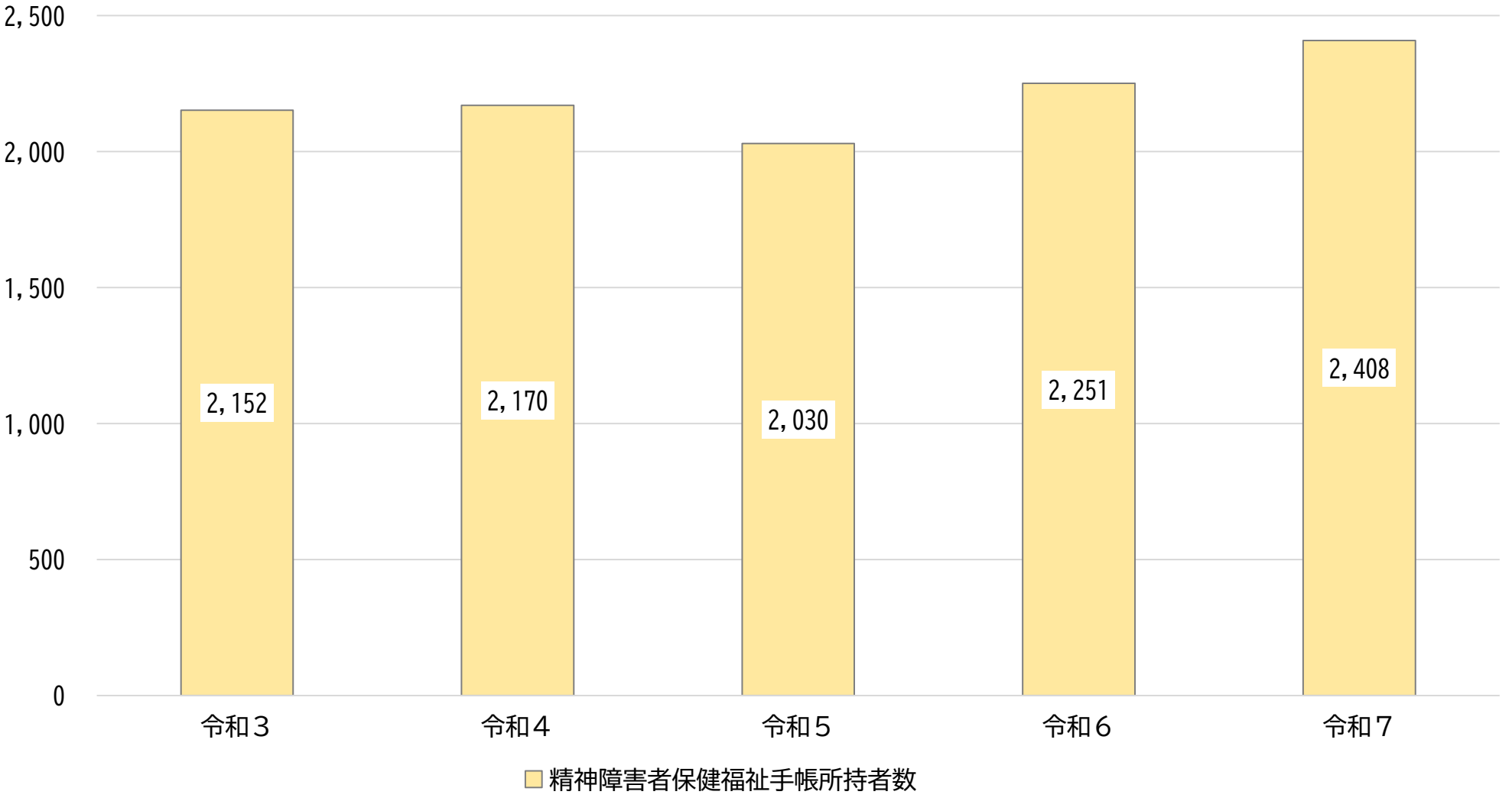
等級別に見ると、「4度（軽度）」が最も多くなっています。



※各年4月1日現在

精神障害者保健福祉手帳所持者数は増加しています。

■ 精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移 単位：人

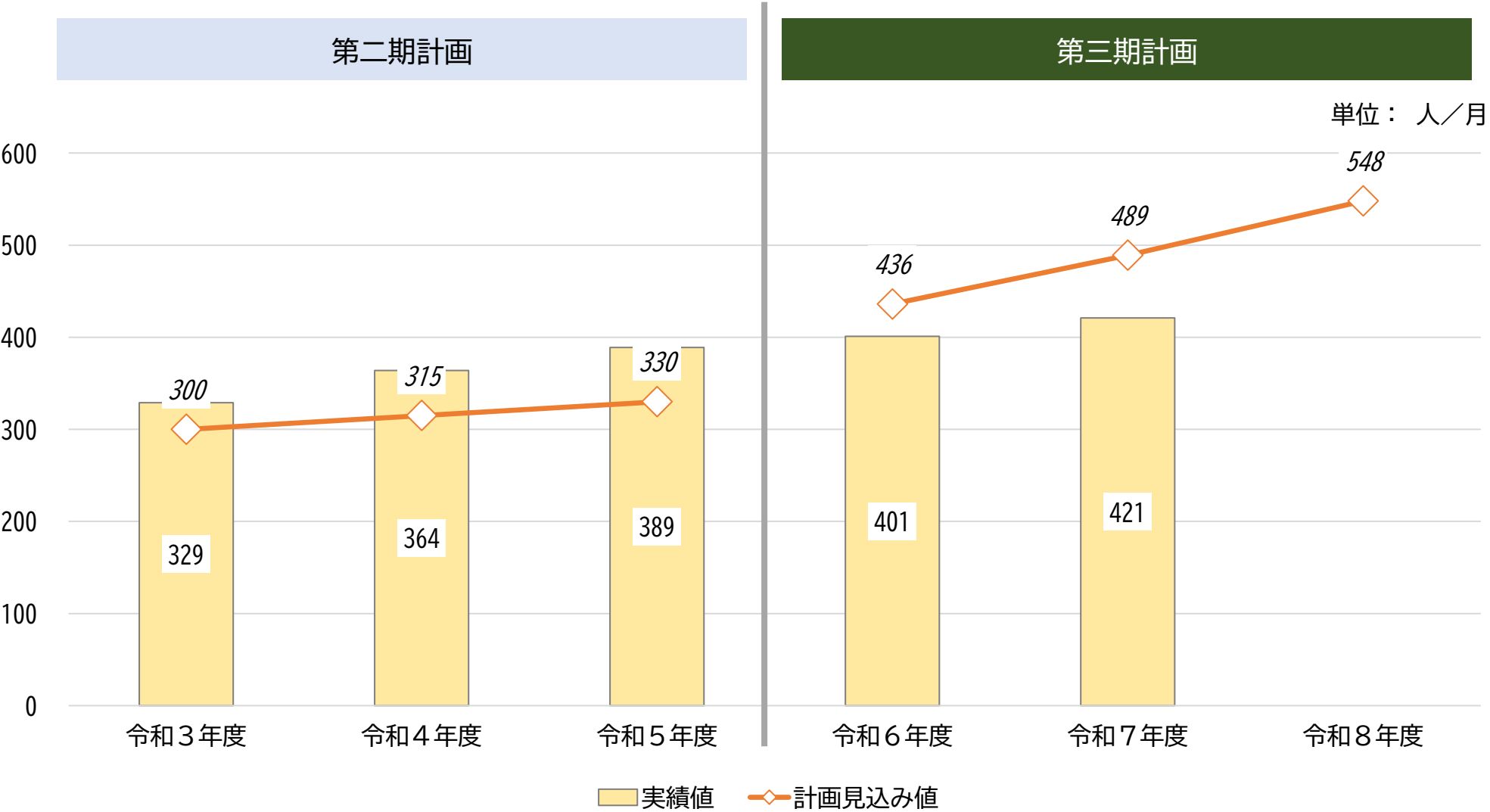


※各年3月31日現在

2 主なサービスの利用状況

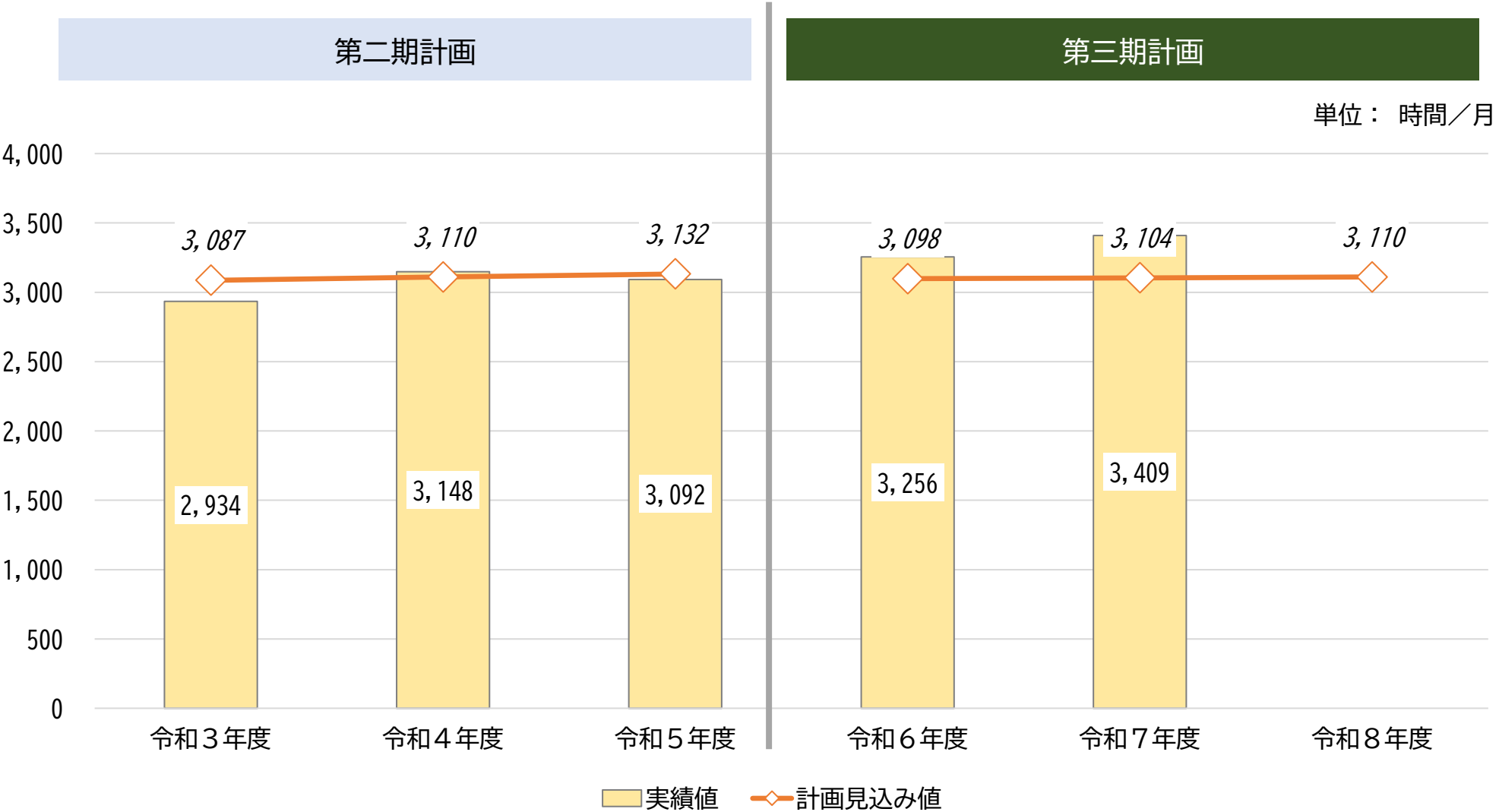
計画相談支援の平均利用者数は増加していますが、令和6年度からは計画値を下回っています。

計画相談支援の平均利用者数の推移



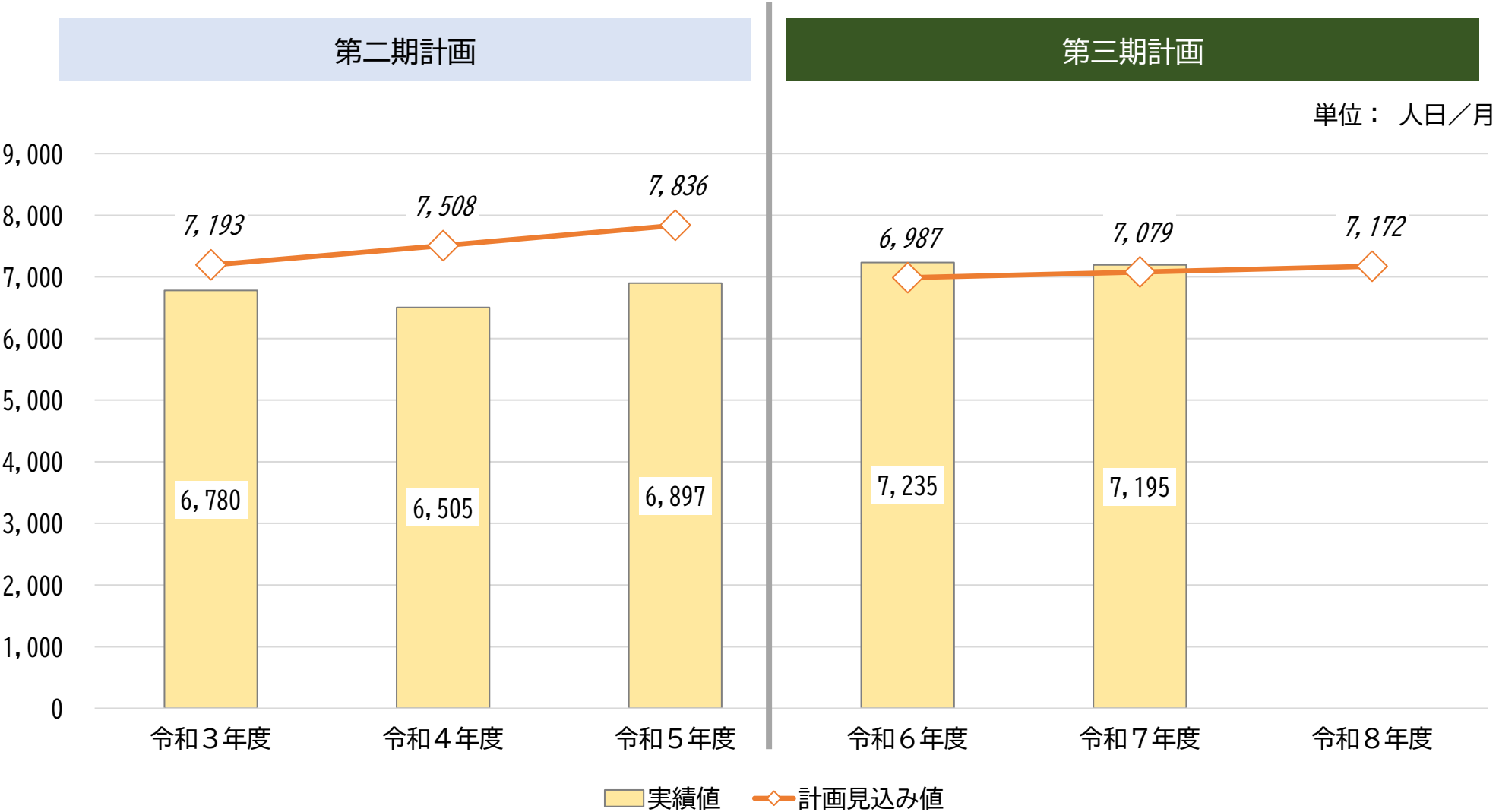
居宅介護の平均利用時間は増加しており、令和6年度からは計画値を上回っています。

居宅介護の平均利用時間の推移



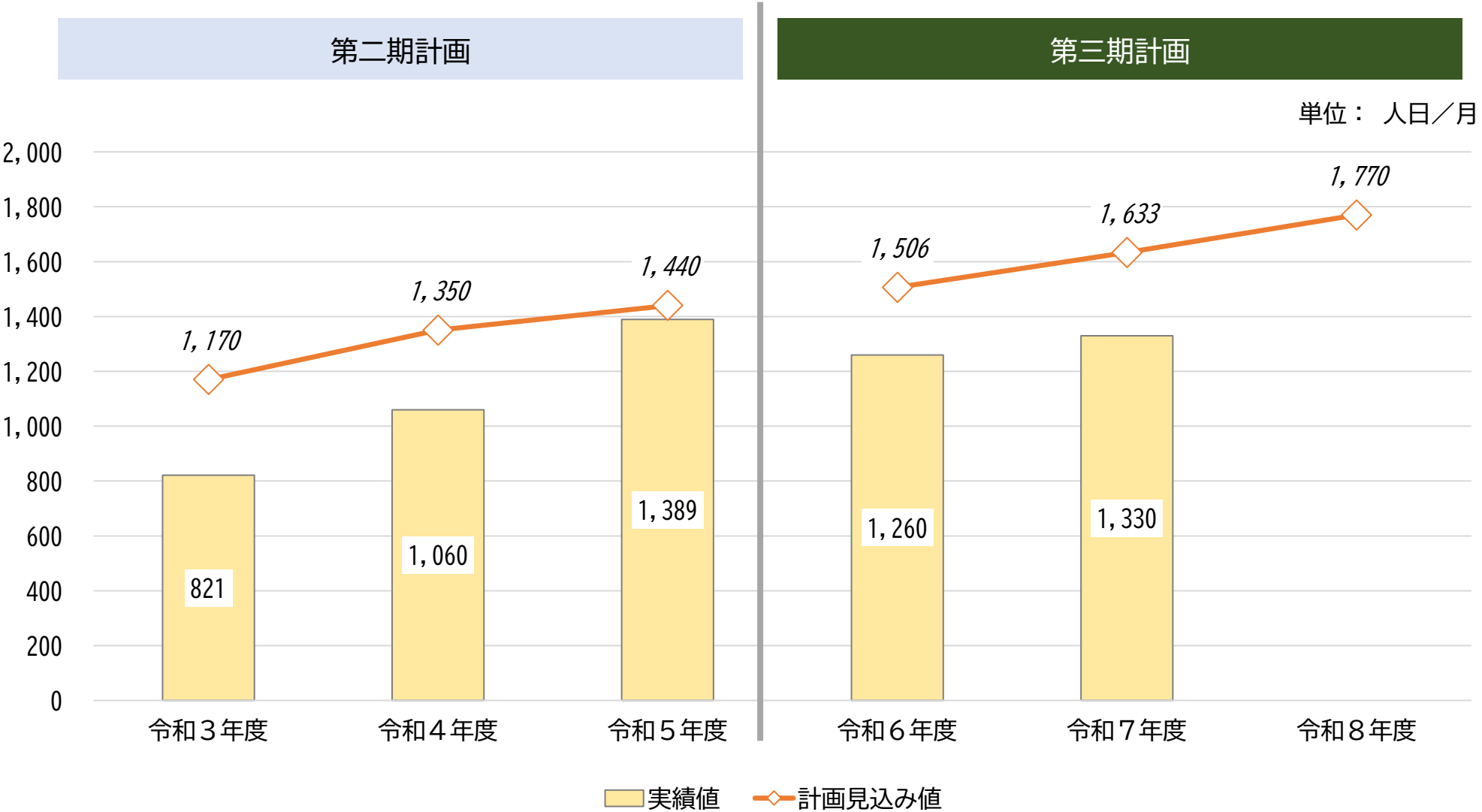
生活介護の延利用日数は増加しており、令和6年度からは若干計画値を上回っています。

生活介護の延利用日数の推移

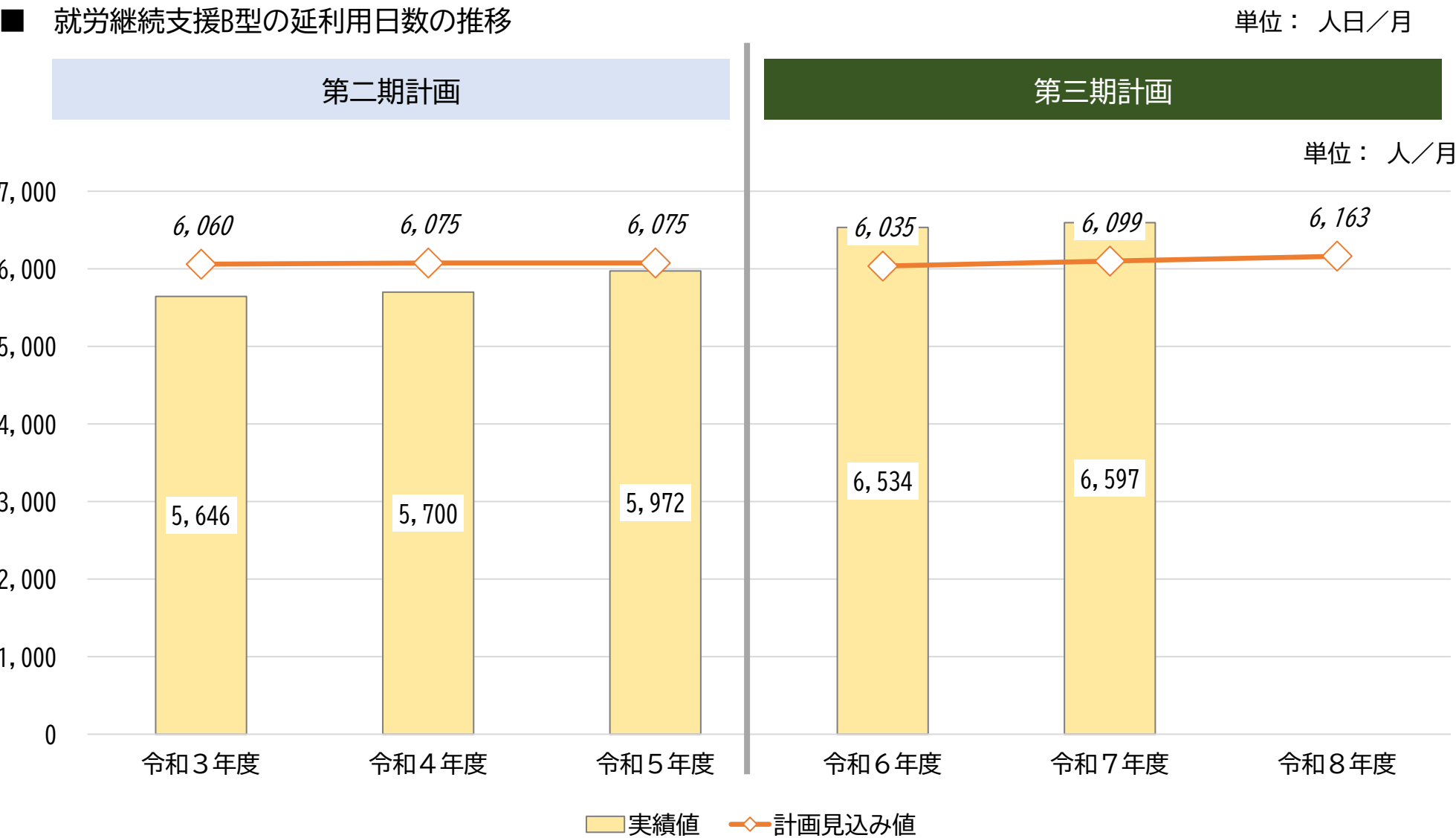


就労移行支援の延利用日数は増加していますが、令和5年度から令和6年度では減少しました。

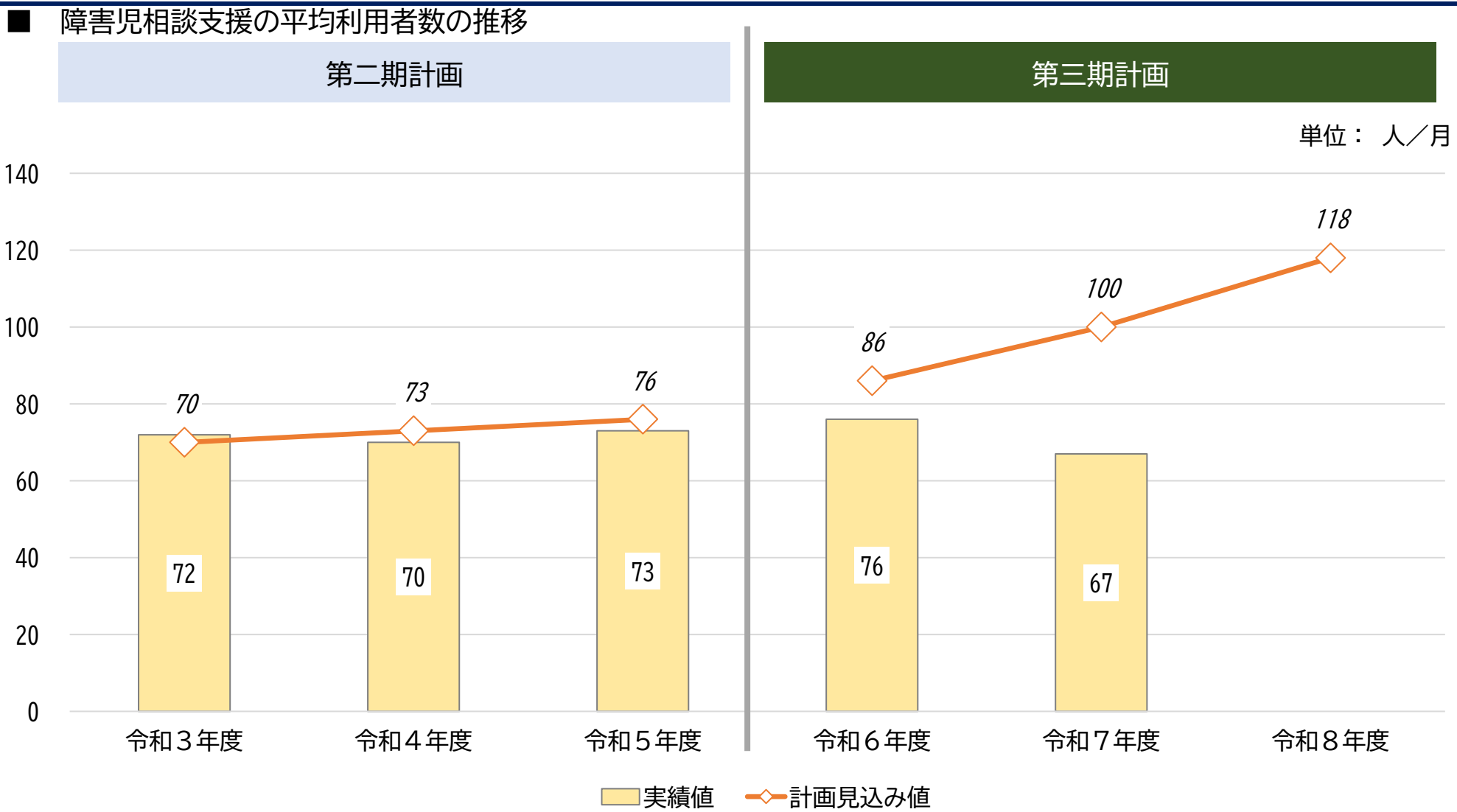
就労移行支援の延利用日数の推移



就労継続支援B型の延利用日数は増加しており、令和6年度からは計画値を上回っています。

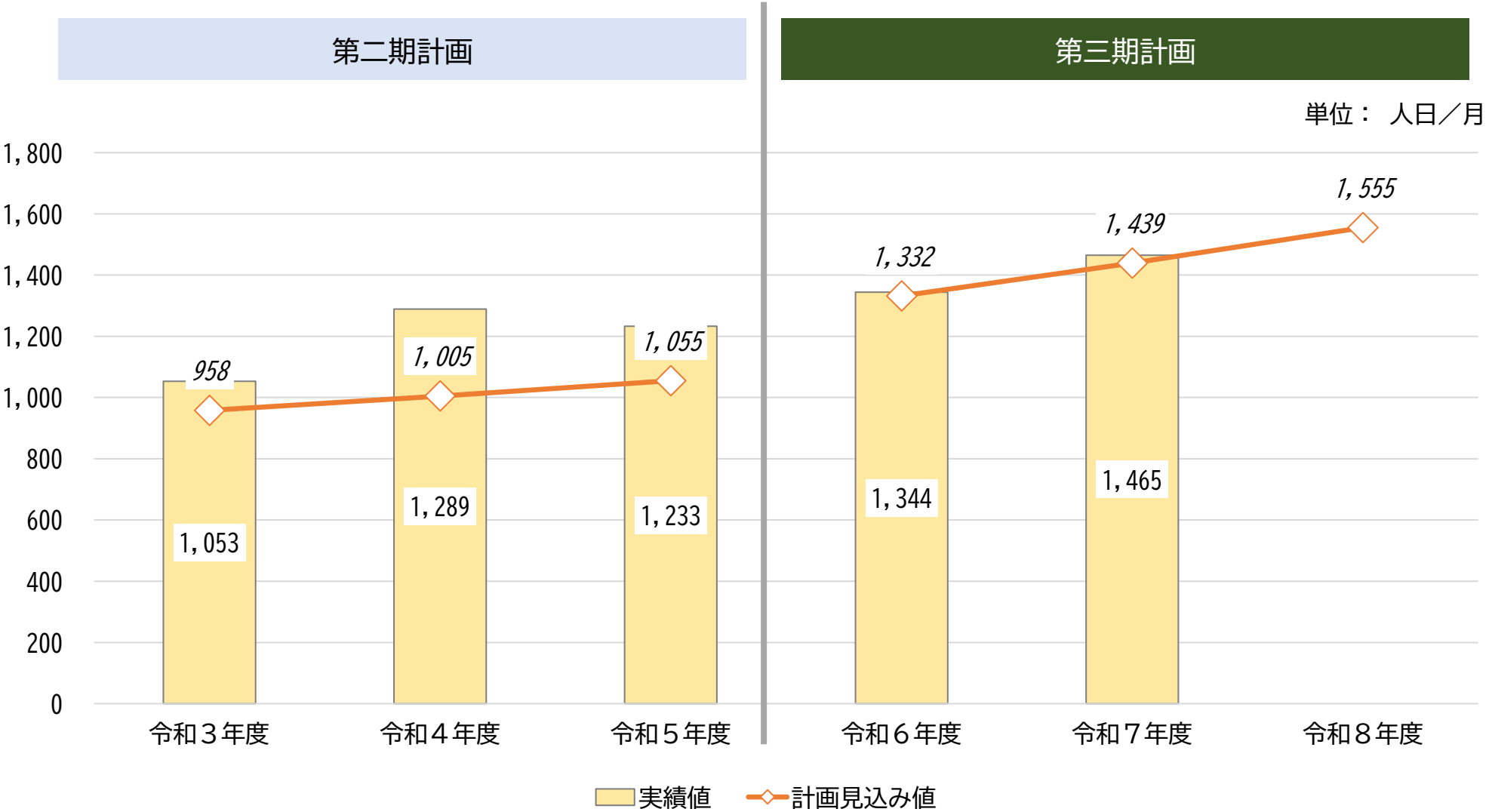


障害児相談支援の平均利用者数は計画値を下回っており、令和6年度から令和7年度では、減少しています。



児童発達支援の延利用日数は増加しており、令和6年度からは計画値とほぼ同様に推移しています。

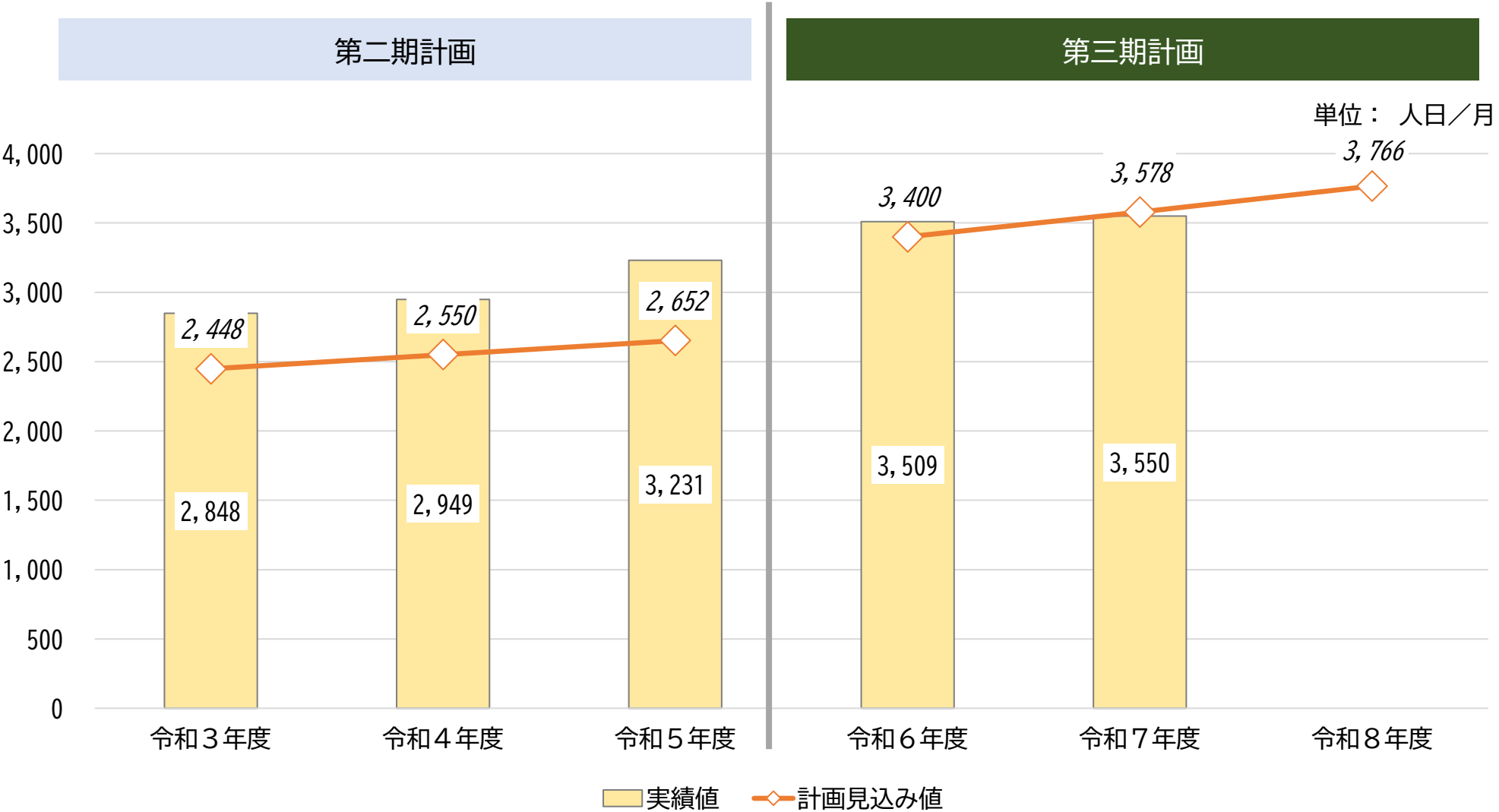
児童発達支援の延利用日数の推移



注) R6年度より「医療型児童発達支援」を含む。

放課後等デイサービスの延利用日数は増加しており、計画値と同様に推移しています。

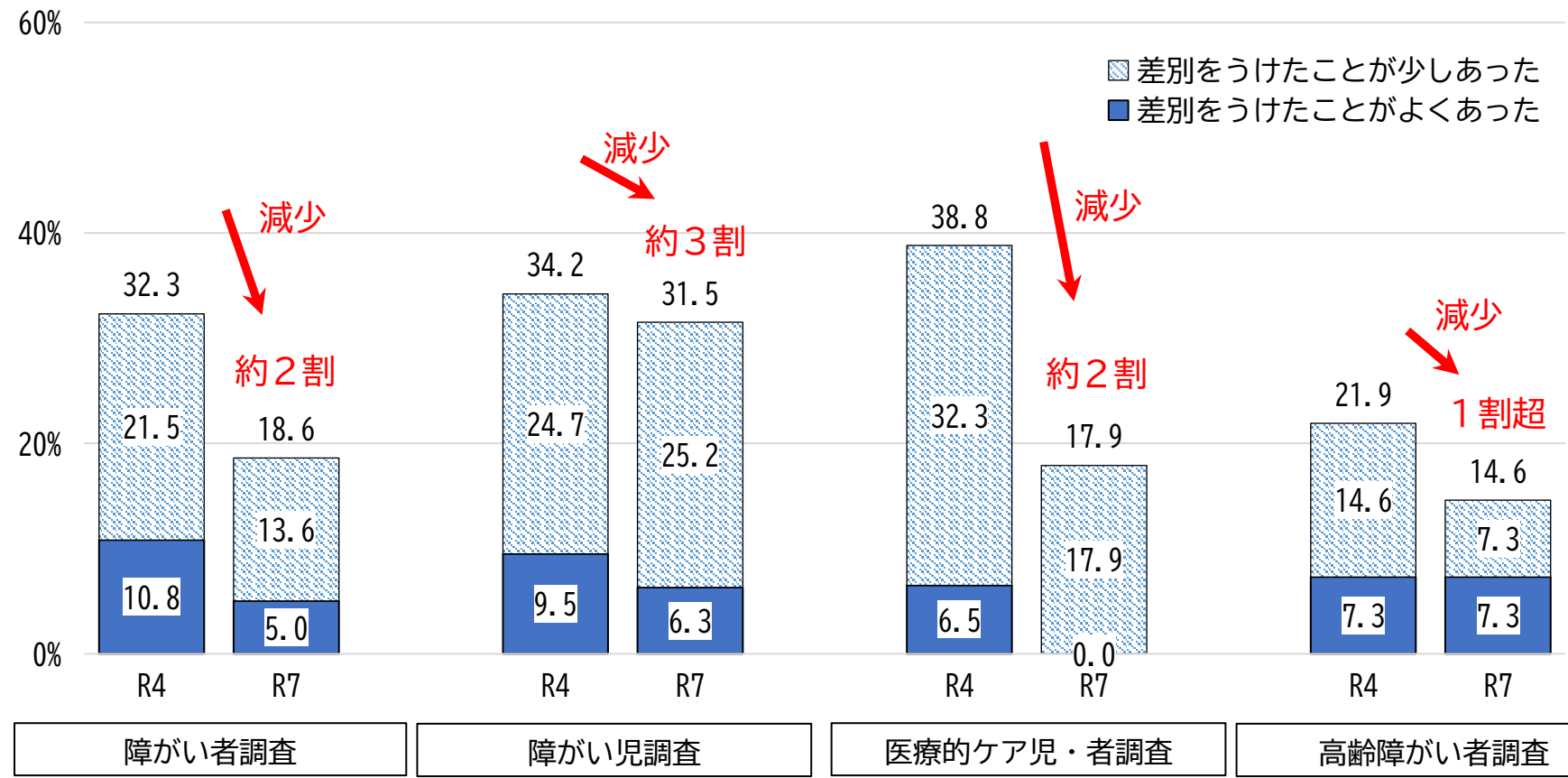
■ 放課後等デイサービスの延利用日数の推移



3 令和7年度 三鷹市障がい者等の生活と福祉実態調査結果より

令和4年度と比べ、差別をうけたことがある割合は低くなっています。

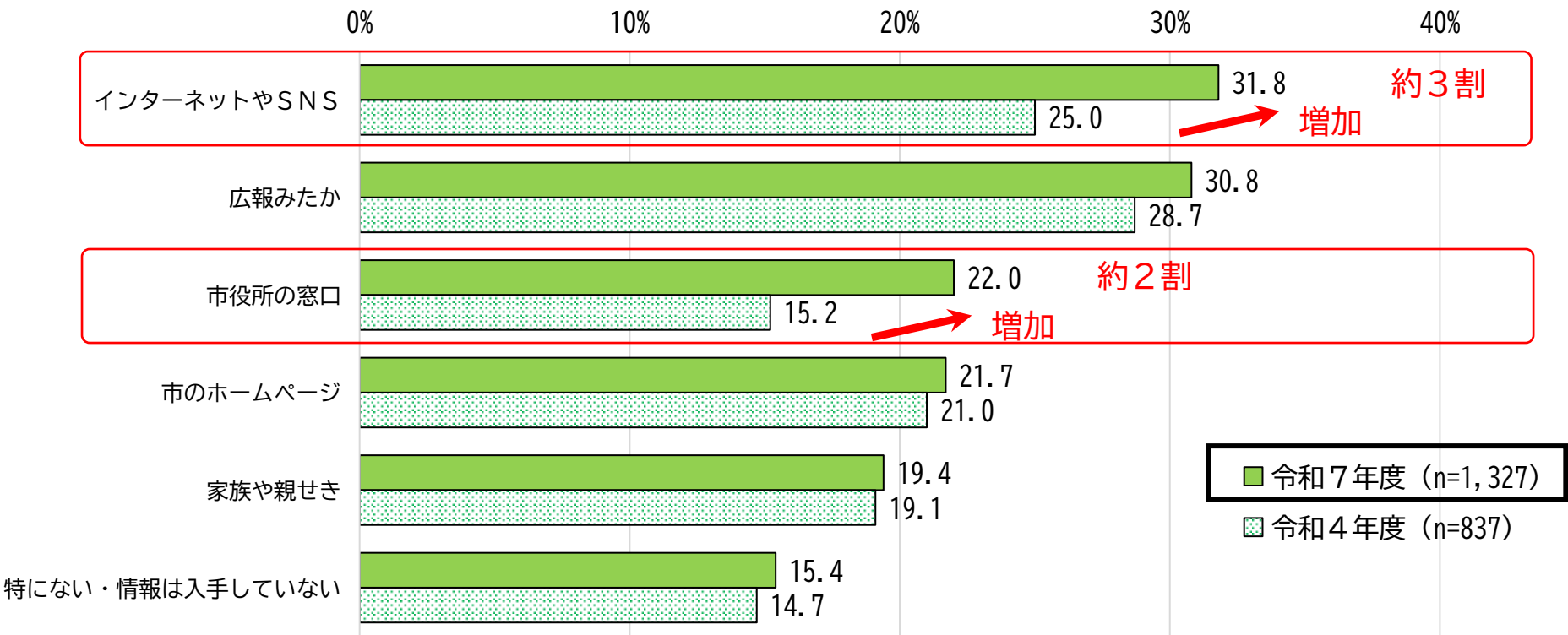
■ この1年の間に障がいがあることで差別をうけたことがあったか



キーワード：相互理解の促進

「インターネットやSNS」、「市役所の窓口」から情報を入手する割合が増加しています。

■ 福祉制度やサービス等の情報を入手する手段（上位5項目、および、「特にない・情報は入手していない」）

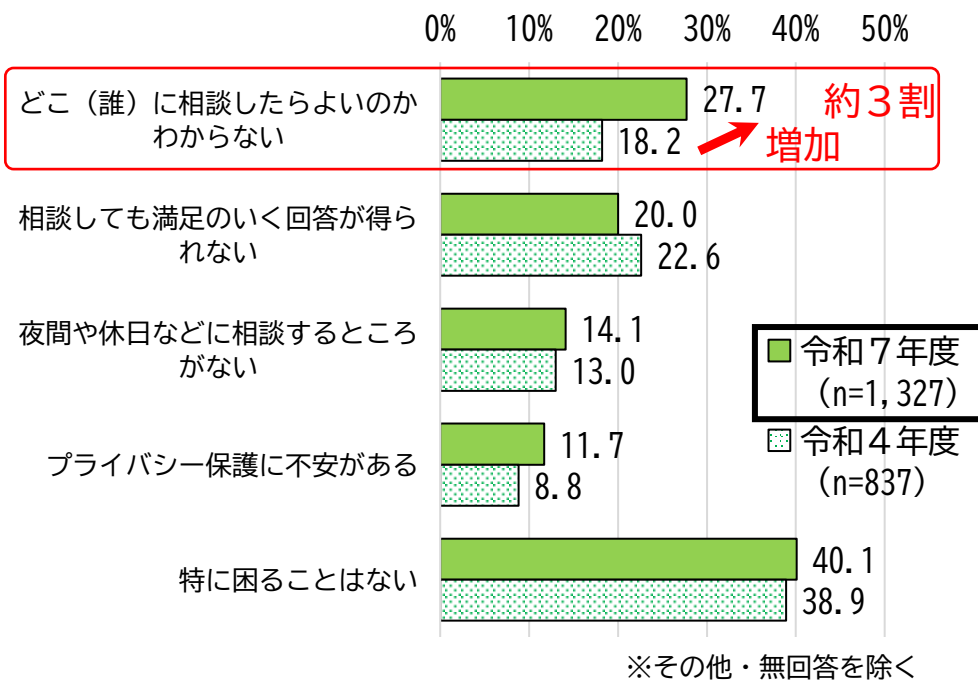


障がい者調査

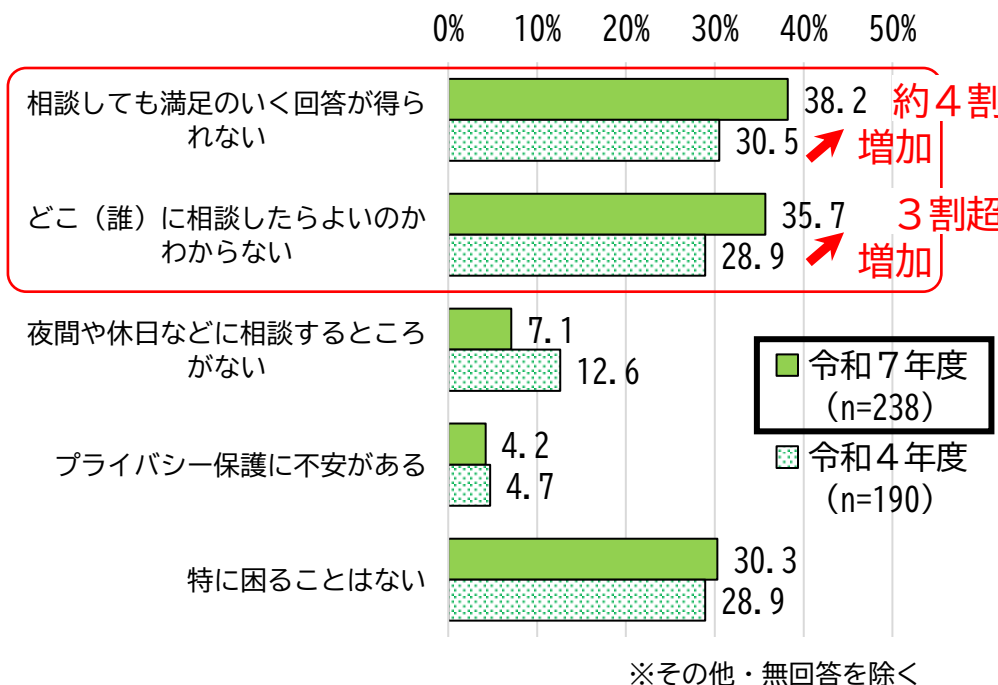
キーワード：情報手段の多様化

相談で困ることとして、「どこ（誰）に相談したらよいかわからない」や「相談しても満足 of いく回答が得られない」の割合が高くなっています。

■ 相談で困ること



障害がい者調査

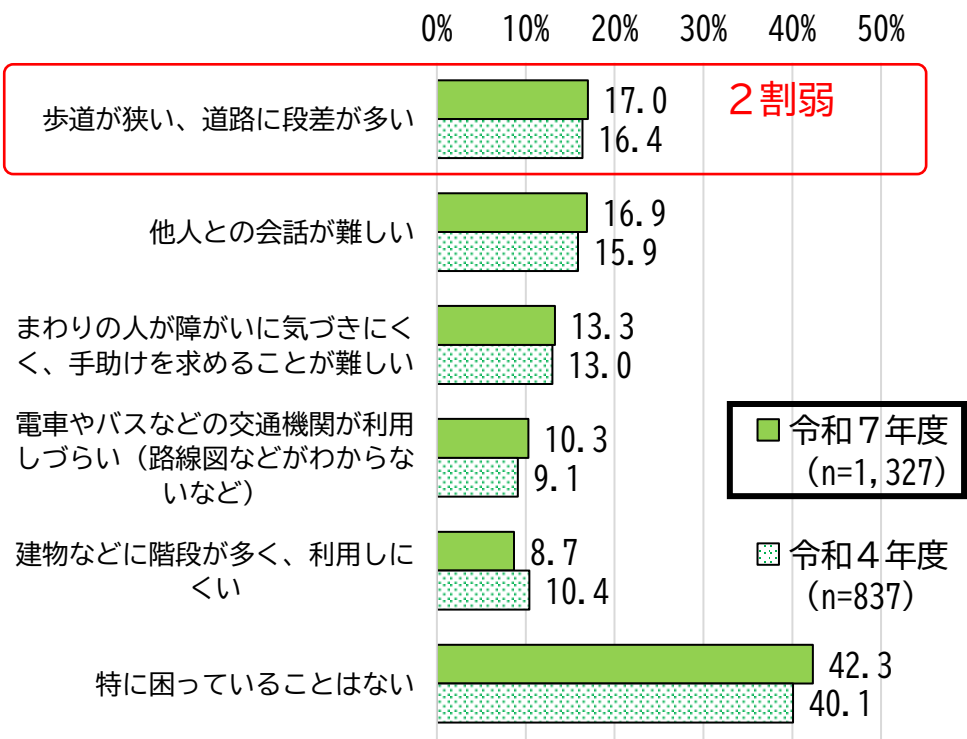


障害がい児調査

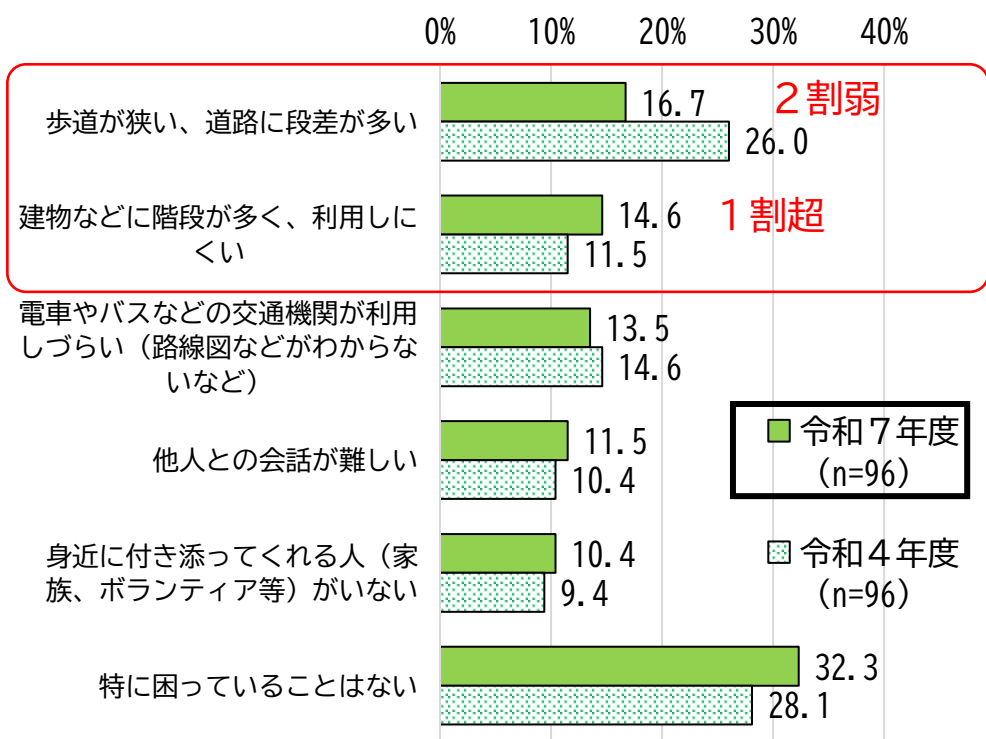
キーワード：相談先の更なる周知

外出時などに困ることとして、「歩道が狭い、道路に段差が多い」や「建物などに階段が多く、利用しにくい」の割合が高くなっています。

■ 外出時などに困ること（上位5項目、および、「特に困っていることはない」）



障害者調査

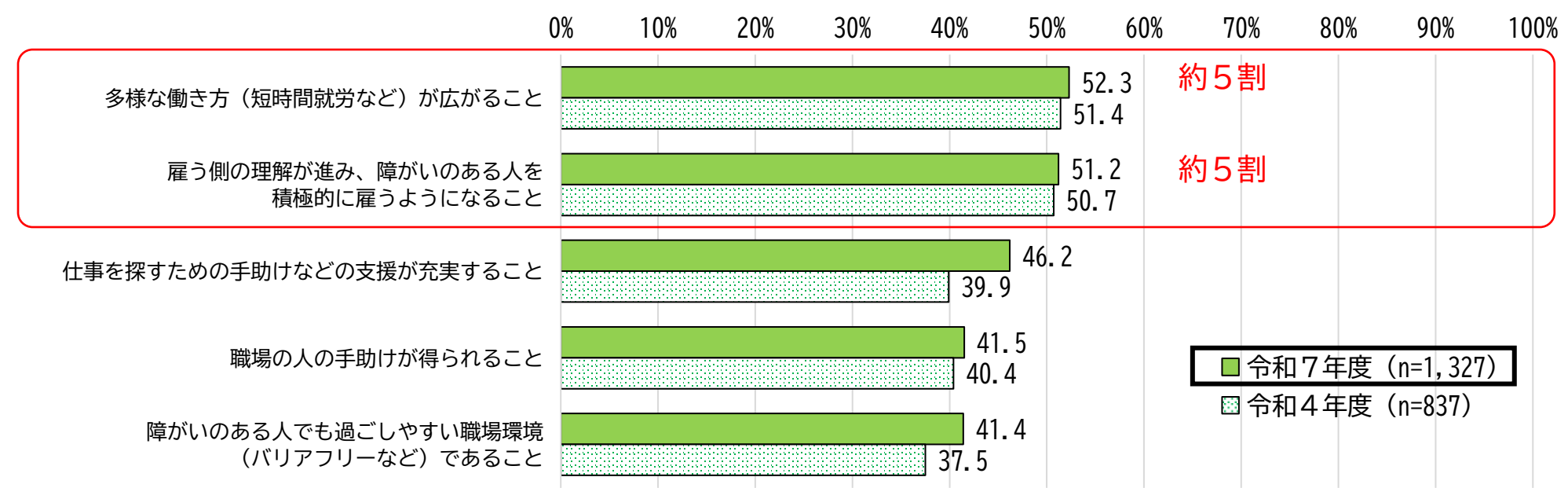


高齢障害者調査

キーワード：バリアフリー

障がいのある人が働くために、「多様な働き方（短時間就労など）が広がること」、「雇う側の理解が進み、障がいのある人を積極的に雇うようになること」が必要だと思う割合が高くなっています。

■ 障がいのある人が働くために必要なこと（上位5項目）

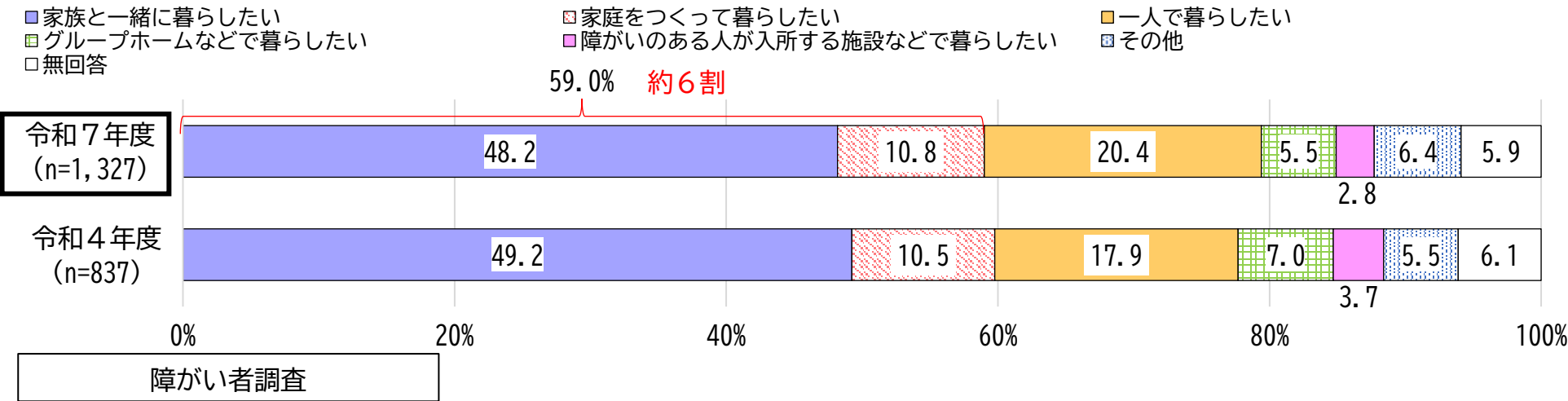


障がい者調査

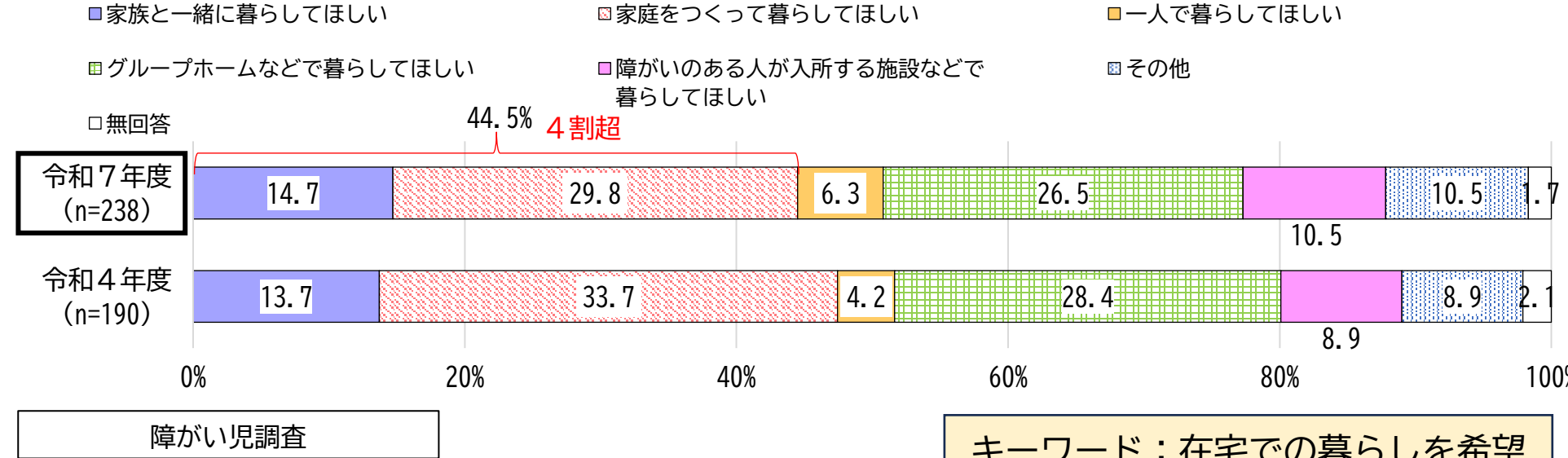
キーワード：相互理解の促進

将来希望する暮らし方として、障がい者調査では「家族と一緒に暮らしたい」割合、障がい児調査では「家庭をつくって暮らしてほしい」割合が最も高くなっています。

■ 今後、どのような暮らしをしたいか

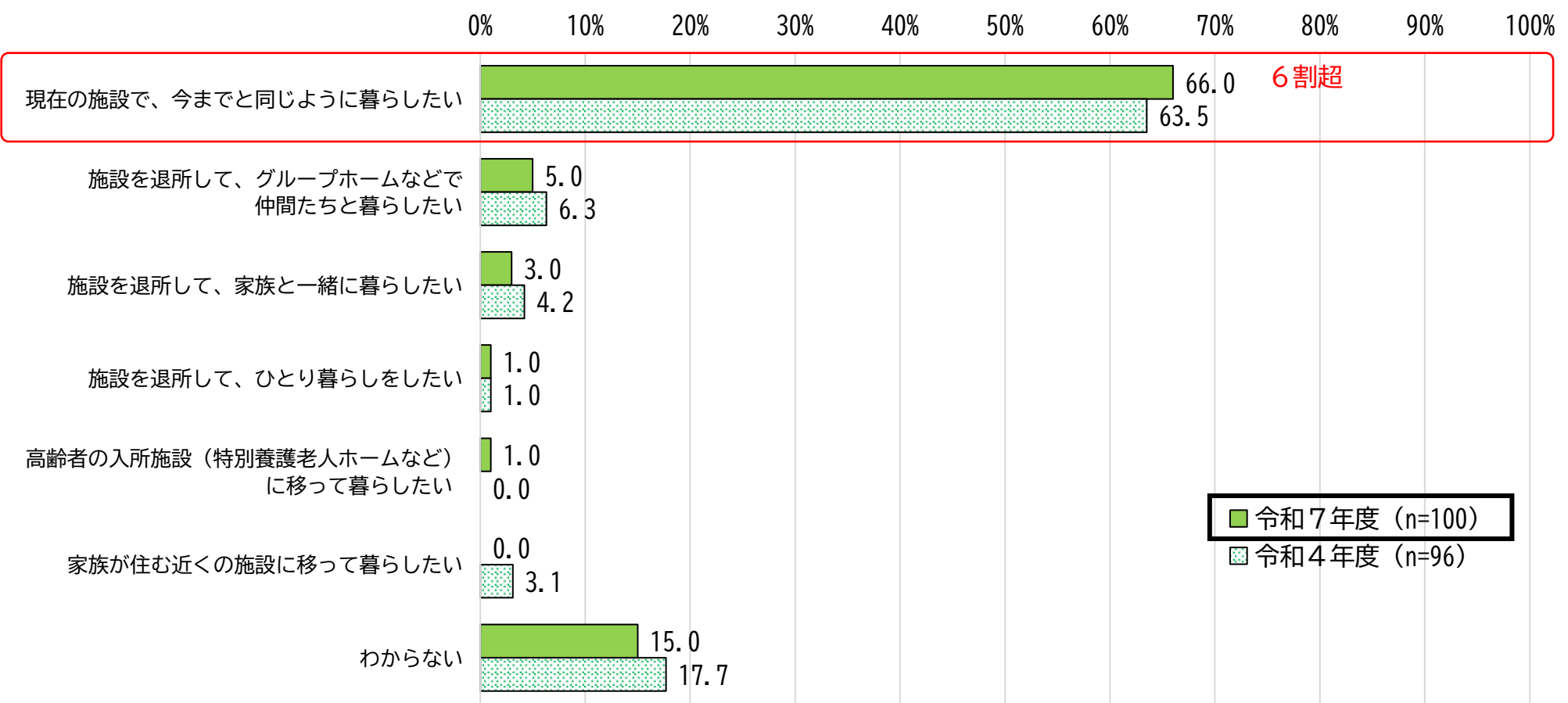


■ 将来、どのような暮らしをしてほしいか



施設入所者調査では、将来希望する暮らし方として「現在の施設で、今までと同じように暮らしたい」割合が最も高くなっています。

■ 将来どのような生活をしたいか



■ 令和7年度 (n=100)
■ 令和4年度 (n=96)

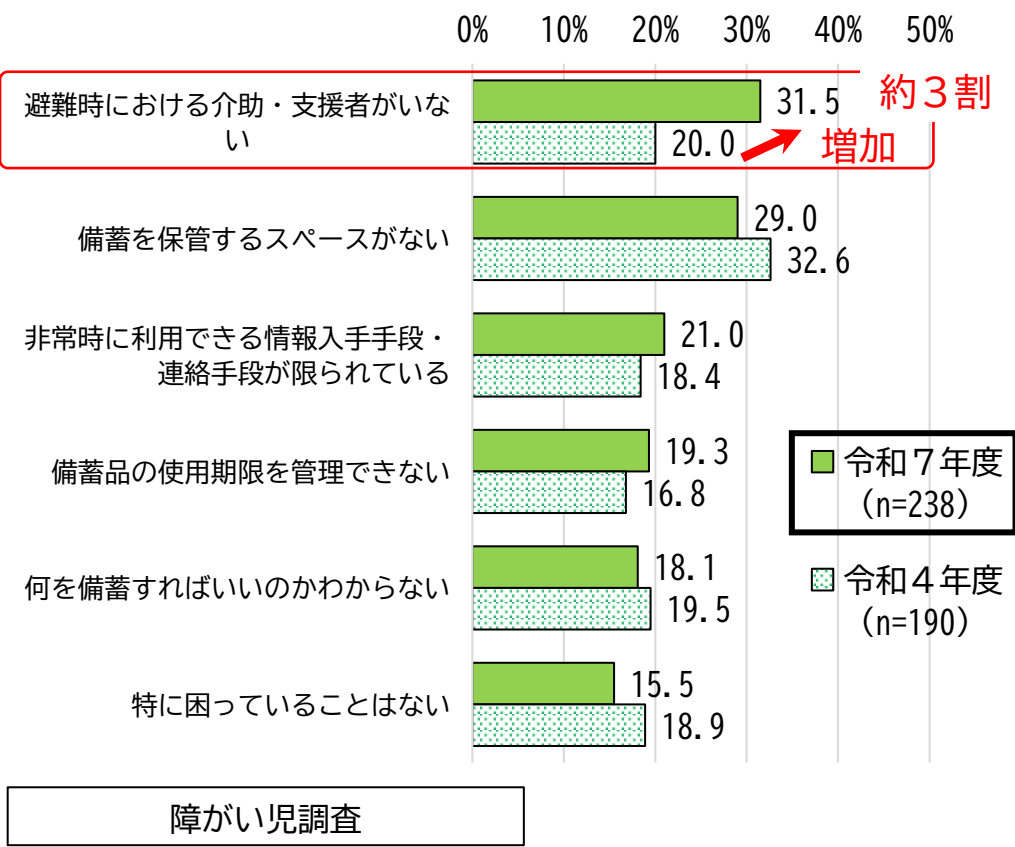
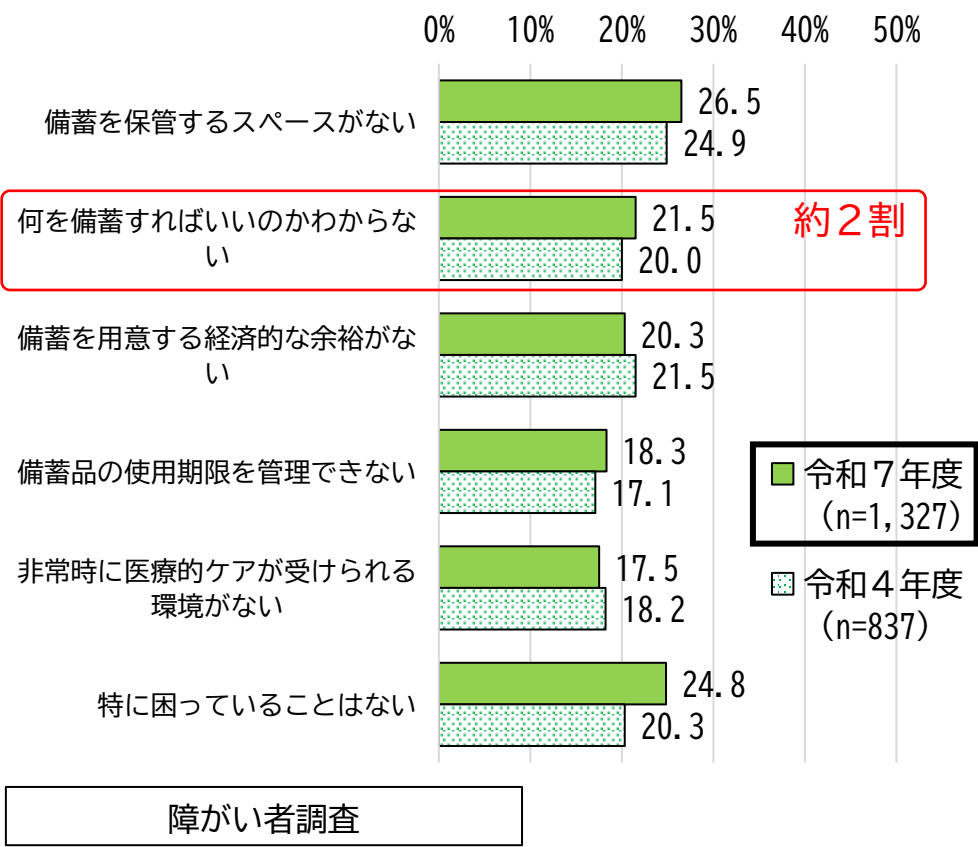
※その他・無回答を除く

施設入所者調査

キーワード：施設利用者は施設の継続利用を希望

災害時の準備で困っていることとして、障がい者調査では「何を備蓄すればいいのかわからない」、障がい児調査では「避難時における介助者・支援者がいない」の割合が高くなっています。

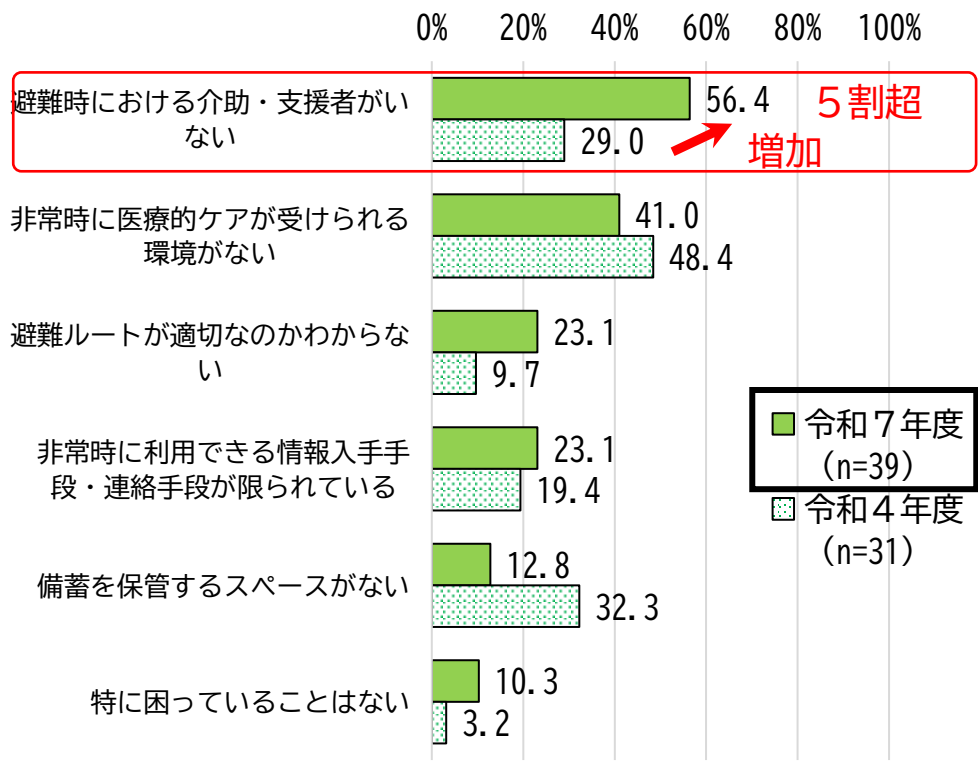
■ 災害時の準備をする上で困っていること（上位5項目、および、「特に困っていることはない」）



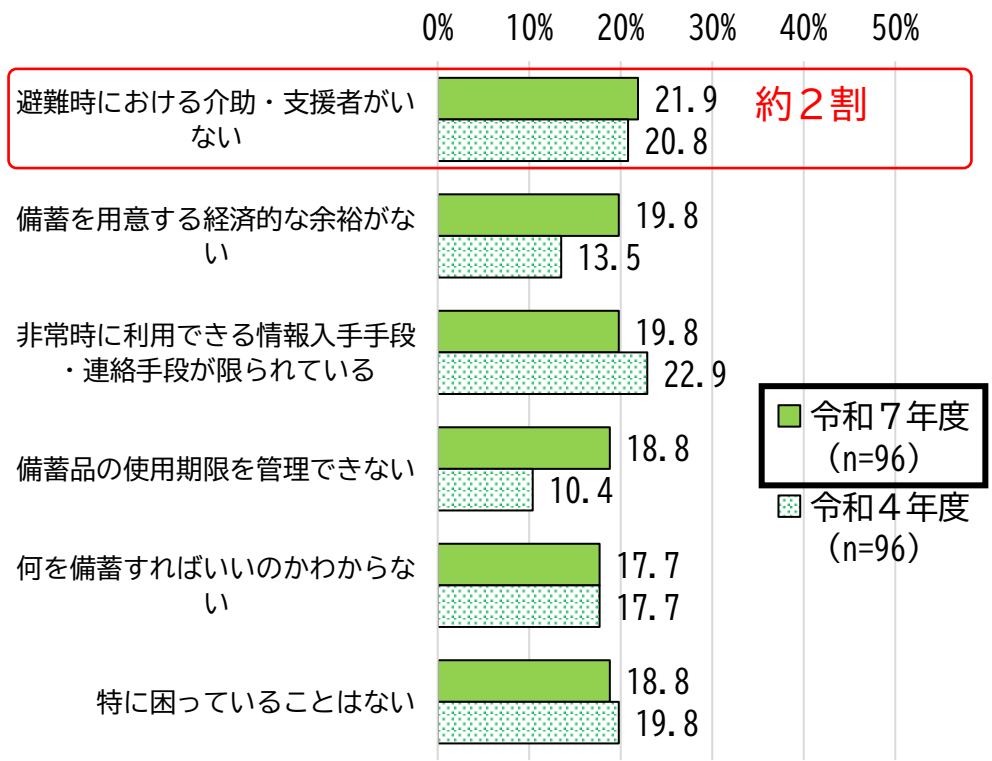
キーワード：情報提供・避難時の支援体制

災害時の準備で困っていることとして、医療的ケア児・者調査、高齢障がい者調査では「避難時における介助者・支援者がいない」の割合が高くなっています。

■ 災害時の準備をする上で困っていること（上位5項目、および、「特に困っていることはない」）



医療的ケア児・者調査

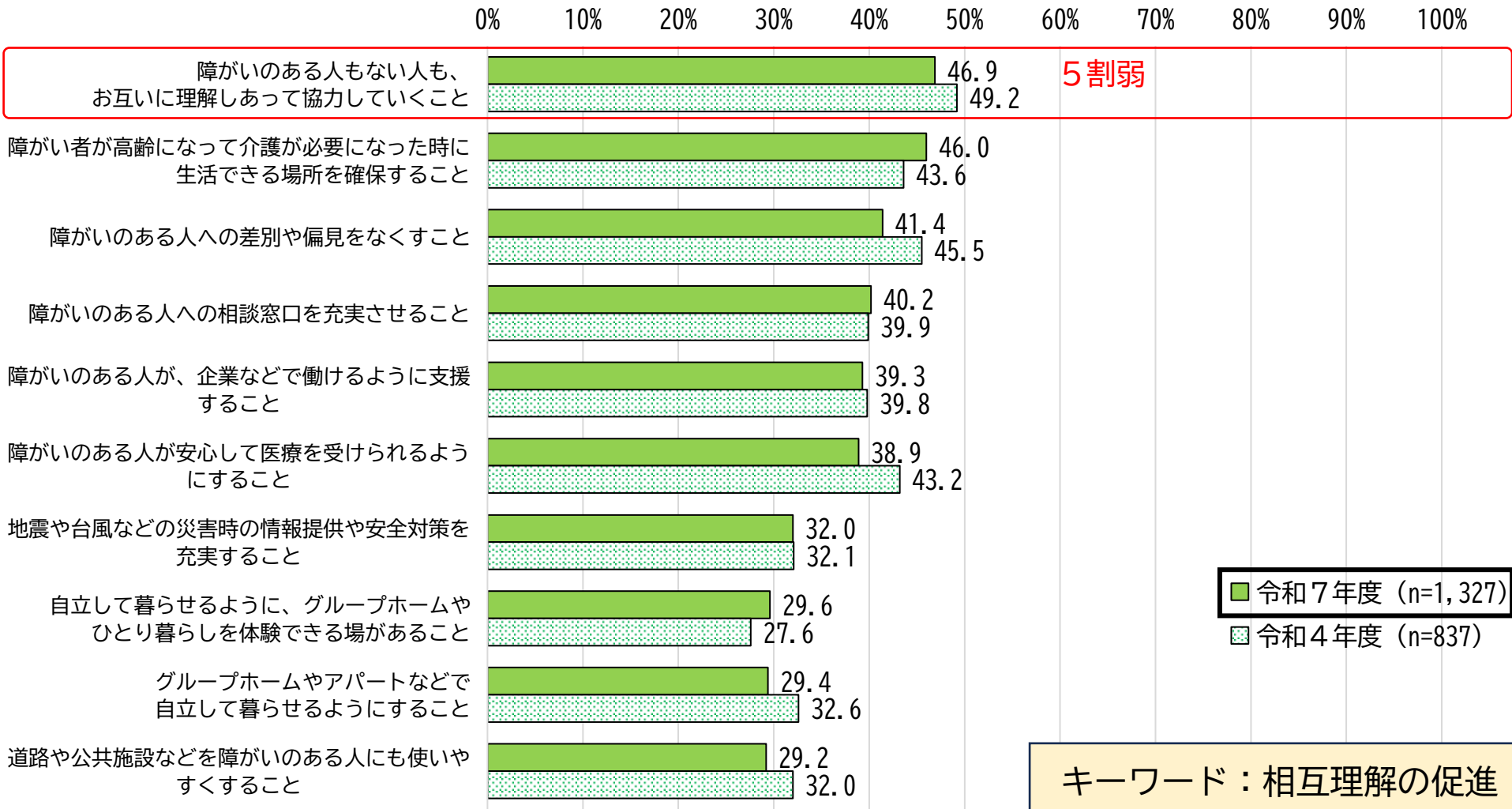


高齢障がい者調査

キーワード：避難時の支援体制

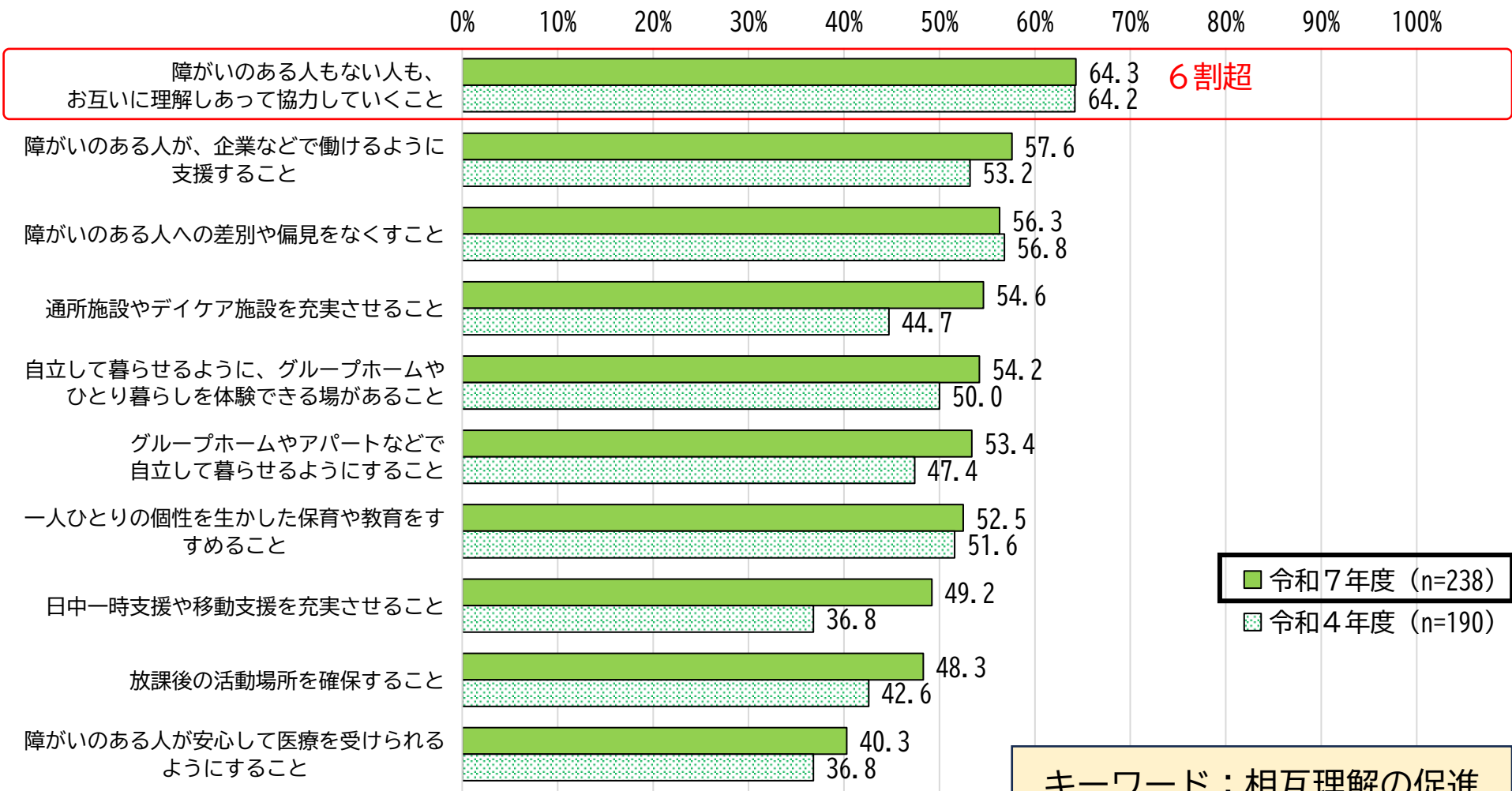
今後、三鷹市に重点的に進めてほしい取り組みについて、障がい者調査では、「障がいのある人もない人も、お互いに理解しあって協力していくこと」の割合が5割弱で最も高くなっています。

■ 今後、三鷹市に重点的に進めてほしいこと（上位10項目）



今後、三鷹市に重点的に進めてほしい取り組みについて、障がい児調査では、「障がいのある人もない人も、お互いに理解しあって協力していくこと」の割合が6割を超えて最も高くなっています。

■ 今後、三鷹市に重点的に進めてほしいこと（上位10項目）



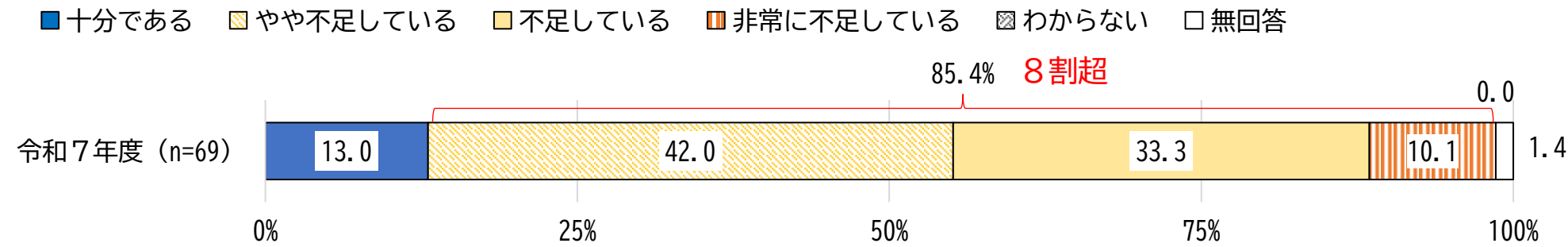
障がい児調査

キーワード：相互理解の促進

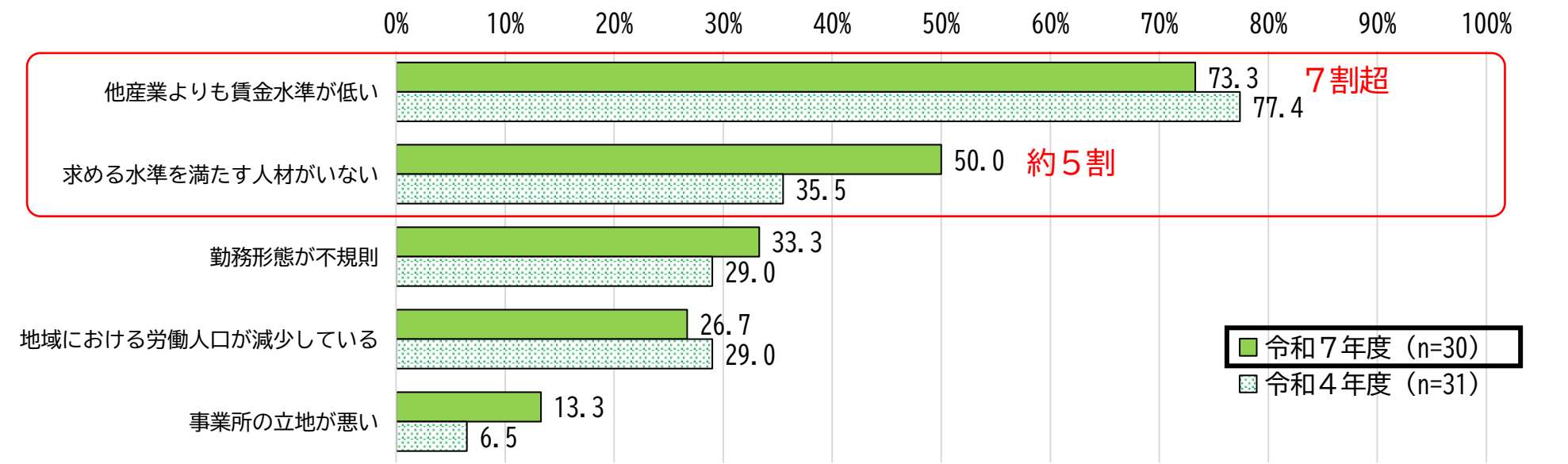
4 令和7年度 障がい者（児）計画策定のための事業所調査結果より

事業所の職員の充足状況について、「やや不足している」、「不足している」、「非常に不足している」を合わせた、職員が不足している割合は8割を超えています。

■ 職員の充足状況



■ 福祉人材が不足している要因（職員が「不足している」もしくは「非常に不足している」事業所、上位5項目）

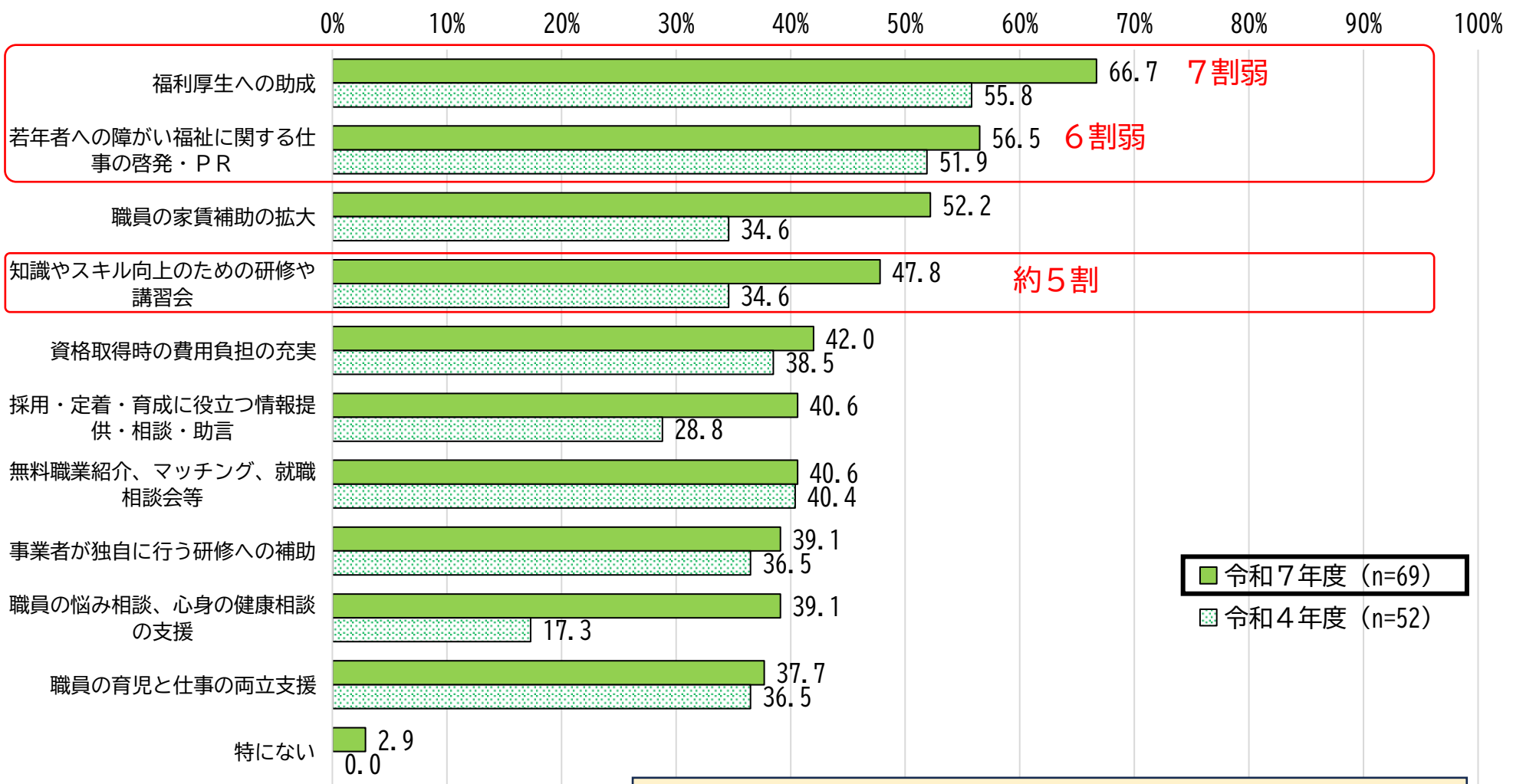


キーワード：処遇改善・人材のマッチング

事業所調査より② 人材の確保・定着・育成のために、行政に取り組んでほしいこと

人材の確保・定着・育成のために、行政に取り組んでほしいこととして、令和4年度と同様に、「福利厚生への助成」や「若年者への障がい福祉に関する仕事の啓発・PR」の割合が高くなっています。

■ 人材の確保・定着・育成のために、行政に取り組んでほしいこと（上位10項目、および、「特にない」）



キーワード：処遇改善・仕事の魅力発信・研修の充実